

## 【様式1】

## 令和5年度 授業改善推進プラン

## 東久留米市立第五小学校 第1学年

教科	学力に関する各調査に基づく児童の学習状況分析 (数値等で具体的に示す)	具体的な授業改善策及び目標値 (数値等で具体的に示す)	次年度に向けた 自己評価 (A・B・C)
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>平仮名については70%の習得率には達しているが、90%未満である。濁音・半濁音は定着しているが、促音について課題が見られる児童は30%である。(拗音・長音、助詞「は」「を」「へ」については学習したばかりなので、今後、習熟を図っていく。)</li> <li>自分のペースで音読をすることはできるようになったが、語句をまとまりで音読することに課題が見られる児童は10%である。</li> <li>本の読み聞かせしてもらうことを好む児童は多いが、主体的に読書をするについては、個人差が大きい。</li> <li>物語文や説明文を読んだとき、特定の語句や場面に興味を引き付けられ、断片的に読むなどの課題が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝学習の時間に、平仮名や助詞の苦手な表記を取り上げたプリントを活用して、習熟を図る。(目標習得率 平仮名100%・助詞90%以上)</li> <li>音読は宿題を出し、家庭学習とつなげる。学校の学習の中でも、楽しみながら反復練習したり、個々の音読の状況を掴めるようにしたりするために、音読の仕方を工夫する。</li> <li>どの児童も読書をしようという意欲を高めるために、読書カードを書いたり、お勧めの本の紹介をしたりするなど、主体的な活動も取り入れる。</li> <li>物語文や説明文の学習をする際には、めあてや振り返りを書くことで叙述に即して読む方法について意識できるようにする。</li> <li>朝学習では、漢字の確認テストを中心に取り組み、習熟に努める。</li> </ul>	
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>1から20までの数についての個数や順序数についての理解は定着してきているが、5や10のまとまりで数を認識することに課題が見られる。</li> <li>繰り上がりや繰り下がりのない足し算・引き算については、ブロックを操作しないとできないなどの課題が見られる児童は10%程度である。</li> <li>「ちがいはいくつ」などの文章題に課題が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ブロックを操作したり、図を描いたりする活動を通して、まとまりで数を数えたり、数の合成や分解をしたりすることに慣れ、数への認識を確かにする。(目標習得率90%)</li> <li>宿題で家庭学習につなげる。学校でもプリントや計算カードを使って習熟する時間を継続して設定する。</li> <li>図を描いたり、問題を作ったりするなど、理解していることを表現する活動も意識して取り入れた学習計画を立てる。</li> </ul>	
生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>観察する際に、細部まで違いや変化を見たり、それらを記入したりすることに課題が見られる。</li> <li>調べたことを表現することに課題が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観察の視点を明確にし、違いや変化に気付くように、提示や発問、声掛け等を行う。(目標習得率90%)</li> <li>タブレット端末を活用し、撮影した写真に説明を加え、発表ノートにまとめられるようにする。(目標習得率80%)</li> </ul>	
道徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題に対して、自分の考えをもつことが難しい児童が見られる。</li> <li>自分の考えたことを発表することに課題が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料の提示の仕方や役割演技などの工夫をし、登場人物の行動や心情について捉えやすくする。自分の考えを記述したり、発言したりすることができる。(目標習得率90%)</li> <li>他教科や特別活動などと関連させ、自分の身近なことから書いたり話したりする力を身に付ける。授業内での振り返りの時間に、道徳的価値について考える時間を設け、全員が自分の考えをもつことができる。(目標習得90%)</li> </ul>	

必要に応じて行を増やしてください。

